

磯根資源の資源管理高度化事業

下前 敦・藤崎 博・大庭 元気・土井 大生

ウニ・アワビ・サザエ・ナマコ等に代表される磯根資源は当県の沿岸漁業における重要な漁業資源であり、特にウニ・アワビ・ナマコは種苗放流が積極的に行われ、資源の増大が図られている。資源を持続的に利用するためには、対象海域の漁獲の実態を明らかにし、科学的データに基づく適切な資源管理を実施することが重要である。本事業では、ウニ・アワビ・サザエを漁獲する海士漁業を対象にした操業日誌調査と、マナマコを漁獲する桁網曳漁業を対象にした操業調査を行い、磯根資源の資源管理に資する漁獲データを収集した。

方 法

1 海士漁業操業日誌調査

当県海域の3地区において海士漁業を行う漁業者に、操業日誌調査を依頼した。調査海域はA・B・C海域とし、各海域の調査期間および調査人数は表1のとおりとした。日誌には操業日・操業時間・対象種としたアカウニ・アワビ・サザエの種別の漁獲量の記入を依頼した。アカウニ・アワビは漁獲個数を記録し、サザエは漁獲重量を記録した。

2 マナマコ漁業操業調査

マナマコ資源と漁獲実態の基礎データ収集のため2024年2月10日にD海域において、桁網曳漁船9隻による操業調査を行った。操業調査は各船で操業時間および1曳網ごとのマナマコ漁獲重量を記録した。

結 果

1 海士漁業操業日誌調査

調査海域ごとの1日あたりの平均操業時間はA海域で1.9時間、B海域で2.7時間、C海域で3.6時間であった。（表2）調査海域ごとの漁業者1人当たり単位時間当たり平均漁獲量を表3に示した。

2 マナマコ漁業操業調査

操業調査で出漁した9隻の総操業時間は26.9時間であり、総漁獲量585kgであった。各船の操業時間・漁獲量・単位時間当たりの平均漁獲量を表4に示した。

表1 調査海域ごとの調査期間および調査人数

調査海域	調査期間	調査人数
A	2023/6/1 ～ 10/27	5
B	2023/4/7 ～ 9/30	10
C	2023/4/20 ～ 9/30	4

表2 調査海域ごとの1日あたりの平均操業時間

調査海域	平均操業時間 (h)
A	1.9
B	2.7
C	5.6

表3 調査海域ごとの漁業者1人・1時間当たり平均漁獲量（単位は、アカウニ・アワビ：個/人・時間、サザエ：kg/人・時間）

調査海域	CPUE		
	個体数（個）/人 /時間（h）		重量（kg）/人 /時間（h）
	アカウニ	アワビ	サザエ
A	13.2	1.6	4.4
B	4.6	1.2	3.7
C	1.8	0.1	2.4

表4 マナマコ操業調査における各船の操業時間（h）・漁獲量（kg）・操業時間当たりの漁獲量（kg/h）

ID	操業時間 (h)	漁獲量 (kg)	漁獲量（kg） /操業時間（h）
1	3	35.8	11.2
2	4	50.5	14.0
3	3	67.3	19.8
4	3	129.6	44.7
5	4	36.1	10.3
6	2	24.3	10.1
7	2	101.7	56.5
8	3	89.1	27.0
9	3	50.6	18.1

令和5年度種苗生産、配付実績

単位:個

種類	アオナマコ	アカナマコ	アカウニ
生産数量総計	720,000	378,500	500,000
漁協等配付数量内訳			
サイズ	10～20mm	10～20mm	20mm
玄海漁協浜崎支所	55,000	54,000	
玄海漁協唐津市統括支所			
満島	15,000	24,000	
高島		2,000	3,000
妙見		8,000	
唐房	133,000	13,000	
相賀		8,000	11,000
神集島	2,000	2,000	10,000
湊岡			15,000
湊浜		2,000	12,000
屋形石漁協			25,000
玄海漁協呼子町統括支所			
呼子	12,000	13,500	
小友		3,000	
片島		3,000	
玄海漁協加部島支所	7,000	8,000	57,000
小川島漁協	29,000	34,000	51,000
玄海漁協鎮西町統括支所			
名護屋			16,000
名護屋岡			8,000
波戸			17,000
串浦	6,000	12,000	58,000
加唐島			5,000
馬渡島		67,000	58,000
外津漁協	49,000	2,000	15,000
仮屋漁協	154,000	42,000	48,000
玄海漁協肥前統括支所			
京泊		2,000	45,000
菖津	53,000		
駄竹	14,000	16,000	
晴気	4,000		
星賀			
向島		58,000	46,000
京泊・向島			
玄海漁協高串支所	50,000		
大浦浜漁協	101,000		
玄海漁協波多津支所	36,000		
玄海栽培漁業協会		5,000	

※令和5年4月1日から令和6年3月31日までに放流、養殖用種苗として漁協等へ配付